

[山田川]

山田川は、現況河積が狭小で、屈曲部が多く、過去にも出水により浸水被害の危険性にさらされている。沿川の宅地化の進展と共に、沿川地域の治水安全度を向上させることが急務となっている。

このため、河道拡幅のため、築堤、掘削、護岸等を実施することにより、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

改修に当たっては、貴重な魚類の生息環境でもある現況河床の保全に十分配慮する。あわせて、動植物の環境を大きく変化させないため、現況の縦断勾配を維持して、流速とそれに伴う河床材料の変化が大きくなるよう注意する。また、沿川の良い河川林を極力保全する。

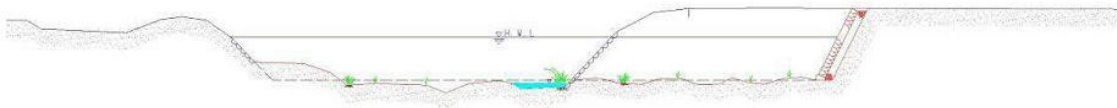
河積拡大のための河床掘削は極力少なくすると共に、十分な幅をもつ河道とすることで、自然な水の流れを形成して河岸の植生の回復を促し、川らしい景観を維持して、周辺の風景との調和を目指す。

整備の実施にあたっては、動植物の保護に十分配慮することとする。

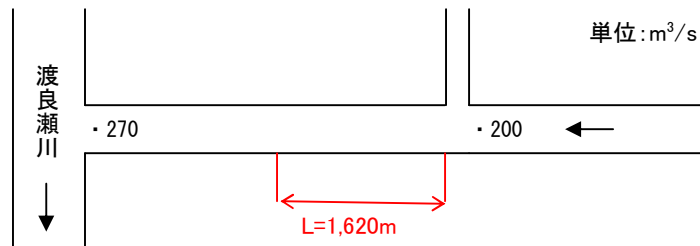
施工区間： 高橋～山田橋上流 90m

延長： L=1,620m

整備内容： 護岸工、掘削工



代表横断面



計画流量配分図